

第10回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成19年6月12日(火)14時00分～15時00分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 現在の委員数 3名
4. 出席者 藤井座長、大杉委員、堀委員
以上3名全員出席
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
環境省・経済産業省担当官
5. 議題 平成18年度 離島対策等支援事業実施結果報告
6. 議事録

議題については、資料3「平成18年度 離島対策等支援事業実施結果報告」を中心に、事務局より説明し了承された。

後日、資金管理業務諮問委員会に報告し、承認をえる旨※を提案し了承された。

※本案件については、6/14 第20回資金管理業務諮問委員会に報告し、承認された。
(主な質疑・意見は次ページをご覧ください)

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

(1)センターの自治体支援活動について

◇18年度支援活動については、ポスター展開による周知活動支援や好事例の展開等精力的に活動しており評価できる。今後とも事業の活用率を上げるために、支援活動を継続強化すべき。

核となる人、核となる事業者の育成等、人に着目したきめ細かな活動は重要である。また、協力者に積極的に参画いただけるよう、表彰等検討してもらいたい。

◆引き続き、本支援事業が対象地域において積極的に活用されるよう支援活動を行っていく。

また、市町村での事業実施に際し、大きな役割を果たしている協力者に対する表彰については、制度導入に向け主務官庁と協議していく。

(2)離島対策支援事業について

◇今後も本支援事業については、事業目的を踏まえ、各離島の地域性等実態に即して的確に実施するよう努めるべき。

特に、現在の鉄スクラップ価格が上昇しているため事業活用に至らないケースが見られるが、鉄スクラップ価格が下落、または重油高騰による海上輸送費が上昇する状況になれば、事業活用が増えるケースも想定される

したがって、鉄スクラップや重油市況等の変動に対し、事業が円滑に実施できるよう配慮いただきたい。関係市況を注視しつつ、離島毎の使用済自動車の流通実態について把握したうえで、事業の安定・定着化に向け活動を継続してもらいたい。

◆各離島の実態を把握し市況変動に対応していく。

(3)申請時の不備について

◇申請時の書類不備等について、柔軟に対応いただいたことは評価できる。悪意のあるものは別として、市町村担当者の異動は数年に1度あるため、事務手続きの問題等は今後も柔軟に対応すべき。

◆書類不備等については引き続き柔軟に対応していく。

(4)島内の放置車両について

◇島内において一ヶ所に1～3台程度が放置されているケースがある。この場合、不法投棄等対策支援事業の対象にはならないと思うが、自治体にどのように対処したらよいか、助言等すべき。

◆放置自動車の対処に関しては、放棄車両引取システムを従前より案内しており、不法投棄等対策支援事業と併せ自治体に対する理解普及活動を今後も行っていく。

以上